

AIスーツケースが誘導

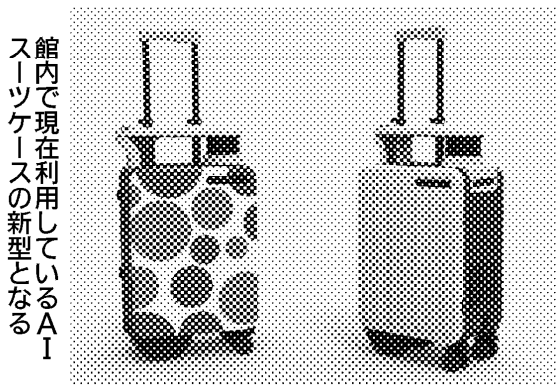
2025
EXPO

【いわき】日本科学未来館はクフウシヤ(相模原市中央区、大西威一郎社長)の協力で、新たな人工知能(AI)スーツケースを開発した。クフウシヤが製作し、2025年大阪・関西万博で実証する。視覚障がいがある人らを目的地まで誘導するスーツケース型ロボットで、日本科学未来館が開発して館内で現在利用しているAIスーツケースの新型となる。

視覚障がい者向け

新型AIスーツケースは自律型ナビゲーションロボットとなる。飛行機に持ち込めるサイズのスーツケースに色と奥行きが分かるRGB-Dカメラを使用

日本科学未来館・クフウシヤ 万博会場内で実証



館内で現在利用しているAIスーツケースの新型となる

ロボットの開発拠点を置くクフウシヤの協力を得て開発し、製作を始めた。クフウシヤが実用化した掃除ロボットや階段昇降ロボット、位置情報を取得する全地球測位システム(GPS)も装備する。通常のスーツケースと変わらない外観のロボットに仕上げた。使用するため、福島県南相馬市に

り、スマートフォンでロボットと対話することで、ロボットが目的地に導く。